

学校だより 5月号



# 東深沢

令和7年4月30日  
みしまの森学舎  
世田谷区立東深沢小学校  
校長 奥長 英樹



## あたりまえだけど、とても大切なこと

副校長 高木 案理

はじめまして、今年度4月に東深沢小学校 副校長として着任いたしました、高木 案理と申します。子どもたち、保護者の皆様、地域の方々と早く仲良くなりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

4月7日の始業式・入学式から早3週間が過ぎました。東深沢小学校の子どもたちも、新しい学年、新しい環境に慣れ、少しずつ生活リズムを整え、一人一人本来の姿、普段通りの生活を送ることができるようになってきたように思います。休み時間になると、一斉に校庭に出てきて、友達と思い思いに遊び楽しむ姿が見られ、見ている私も子どもたちに元気をもらっている毎日です。

保護者会にはどの学年も多くの保護者様にご参会いただき、誠にありがとうございました。本校校長の学校経営方針や、各学級担任の学級経営方針などをお伝えさせていただきました。今後とも学校教育へのご理解とご協力の程お願いいたします。

さて、今回は私が以前感銘を受けた、アメリカの小学校教師ロン・クラーク氏の著書「あたりまえだけど、とても大切なこと」という本の紹介をさせていただきます。

「大人の質問には礼儀正しく答えよう」  
「相手の目を見てはなそう」  
「誰かがすばらしいことをしたら拍手しよう」  
「口をふさいで咳をしよう」・・・(著書では50個続きます)

お子様の様子はいかがでしょう？一見、当たり前のように思えることばかりですが、多くの子どもたちは改めて誰かから教わることがないように思います。ロン氏はこのような基本的なルールを学級で徹底させることで、子どもたちの心を落ち着かせ、良い方向に導いていきました。その素晴らしい業績が認められ、2001年ディズニーから「全米最優秀教師賞」を受賞しました。

ロン氏は、ルールを徹底しながらすべての子どもを受け入れ、信頼を勝ち取る中で、やがて子どもたちの表情や行動パターンは変わっていきました。また、ロン氏は祖母の影響を受けながら育ったということで、古き良き時代の祖母の教えもルールに表れているように思えます。

多様性を認め、尊重し共生していくことが求められる現代だからこそ、原点に立ち返り「あたりまえだけど、とても大切なこと」を再確認することで、みんながますます楽しい日常生活を送ることができるようになると思います。

なお、子どもたちが自分で読めるように本書をもとに書き下ろされた「みんなのための ルールブック～あたりまえだけど、とても大切なこと～」という本もあります。お時間があればお子様と一緒にご一読していただければ、いかがでしょうか

